



平成30年 5月22日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

子どもたちの多い生活道路の安全対策のための 社会実験を実施します

～国道329号 那覇市仲井真交差点西側開口部～

国道329号 那覇市仲井真交差点西側開口部（図1参照）にて、以下の通り社会実験を実施します。

当該、開口部は従前から交通事故が発生し、危険性が高い状況にあります。また、車両が開口部を通過し、通学路である仲井真小・中学校や多くの保育園が立地する北側の生活道路エリアを通行し、同様に危険性が高い現状にあります。昨年度より南部国道事務所と地域関係者で話し合いを実施（地元説明会：3回）し、4/25のワークショップにて、開口部を閉鎖する社会実験を実施することに至りました。

社会実験では、実験前及び実験中に調査を実施して開口部を閉鎖することの効果等を検証いたします。今後、本社会実験の状況を踏まえ、第2回ワークショップを開催し、当該、開口部の処理について方向性を確定していく予定です。

記

○社会実験期間：H30年5月26日～H30年7月29日

○今後の予定



【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所

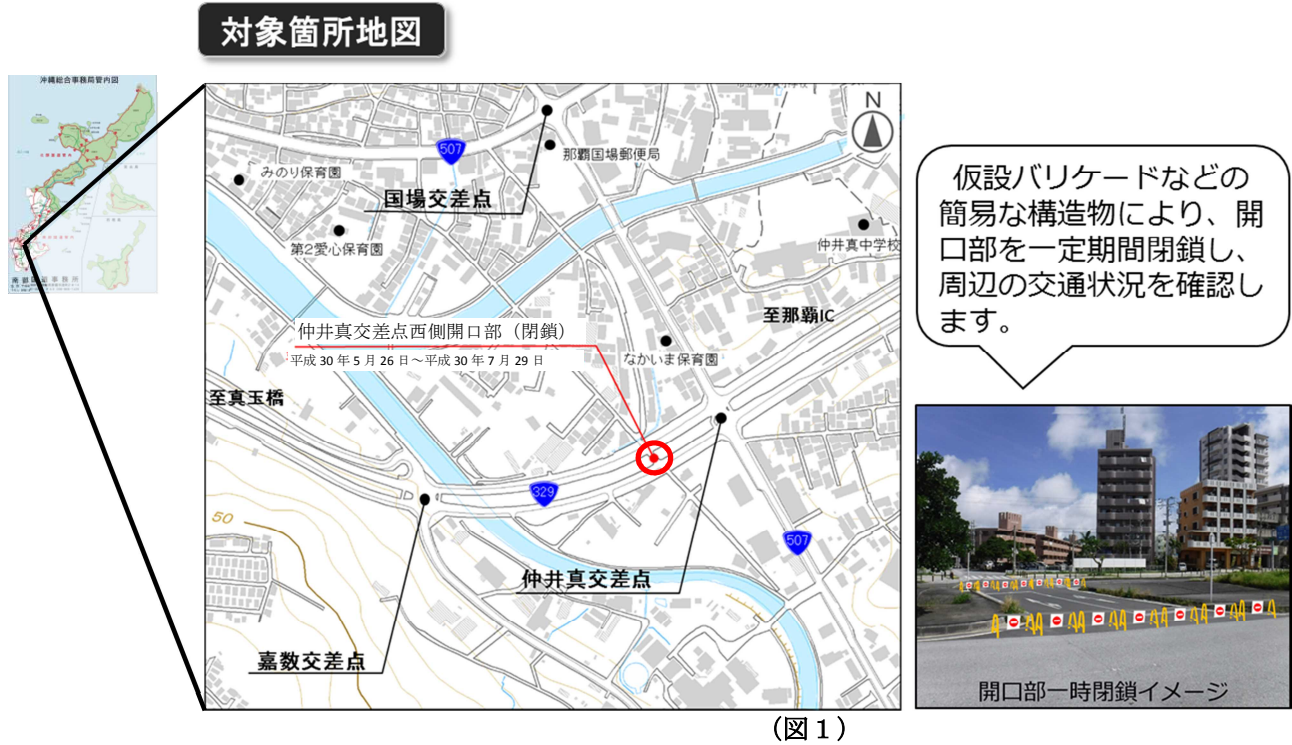
副所長 山城 修(やましろ おさむ)

交通対策課長 伊藝 誠一郎(いげい せいいちろう)

電話番号:098-861-2336

【社会実験】簡易構造物による開口部の一時的な閉鎖

開口部の閉鎖に伴う効果および影響を具体的に確認するために、仮設バリケードなどの簡易構造物により、開口部をH30年5月26日～平成30年7月29日までの期間閉鎖します。



■実施者

内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所 交通対策課
〒900-0001 沖縄県那覇市港町 2-8-14
TEL : 098-861-2336 (内線 : 472)

仲井真交差点西側の開口部周辺の交通安全対策について 皆さんで考えてみませんか？ ～第1回ワークショップ実施状況の報告～

- ・平素より、道路行政にご協力いただきありがとうございます。
- ・平成30年4月25日に実施しました、『仲井真交差点西側の開口部周辺の交通安全対策について皆さんで考えてみませんか？ ワークショップ』についての実施状況をご報告します。

【ワークショップ開催概要】

- ・開催日 平成30年4月25日（水）
19：00～21：30
於 国場児童館
- ・参加者 18名（主催者、スタッフ除く）

【ワークショップのプログラム】

- ・開口部周辺の現状、対策案の説明、グループ討議などを行いました。

1. 開会のご挨拶
2. ワークショップについて
3. 開口部周辺の現状について
4. 開口部の交通安全対策案について
- 【質疑】
5. グループ討議の実践
6. 今後の展開について
7. 閉会のご挨拶



【参加者主体のグループ討議】

- ・参加者の皆さん自身により、3グループに分かれて対策案（安全性重視案・利便性重視案）に対するメリット・デメリットについて意見を整理し、発表していただきました。

	閉鎖する案（安全性重視案）	閉鎖しない案（利便性重視案）
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の安全性が向上する。 ・開口部での事故が減少する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のままなので便利である。 ・緊急時（消防・救急）には開口部は必要。 ・移動時間が短縮できる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・各方面への移動が不便になる。 ・他の道路の渋滞が心配（川治い道路等）。 ・交差点のUターンが危険になるのでは？ ・保育園への送迎が不便になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路での事故が心配（外国人観光客の増加、子供の安全性）。 ・停車禁止エリアに車が止まって、開口部が通れない時がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の通行が本当に減る？ ・国場～仲井真交差点間の4車線化が必要。 ・開口部を実際に閉じて実験してみては？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の時間帯通行止めは可能か？ ・開口部の信号制御や右折レーンの設置は可能か？ ・仮に閉鎖して、交通状況を調査してみては？

【今後の予定】

- ・今回のワークショップを踏まえ、簡易構造物により一時的に開口部を閉鎖する社会実験を行い、安全対策の効果や課題について確認することになりました。